



平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フジコー

コード番号 2405 URL <http://www.fujikoh-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小林 直人

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 清水 周二

TEL 03-3841-5431

四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第1四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	639	—	107	—	96	—	57	—
26年6月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年6月期第1四半期 54百万円 (—%) 26年6月期第1四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	15.17	15.07
26年6月期第1四半期	—	—

(注) 平成26年6月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年6月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年6月期第1四半期	4,399	1,848	37.3	433.28
26年6月期	3,510	1,628	46.2	427.38

(参考) 自己資本 27年6月期第1四半期 1,643百万円 26年6月期 1,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	—	—	9.00	9.00
27年6月期	—	—	—	—	—
27年6月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年6月期の期末配当金9円00銭の内訳は普通配当7円00銭、記念配当2円00銭であります。

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,200	—	180	—	150	—	90	—	23.73
通期	2,422	△4.4	360	1.4	310	4.7	180	38.5	47.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年6月期第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、第2四半期(累計)の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期1Q	3,792,700 株	26年6月期	3,791,900 株
② 期末自己株式数	27年6月期1Q	78 株	26年6月期	78 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期1Q	3,792,355 株	26年6月期1Q	— 株

(注)平成26年6月期第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成26年6月期1Qの期中平均株式数(四半期累計)については記載しておりません。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項について、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

なお、当社グループは、前第3四半期決算より連結決算へ移行したため、前第1四半期累計期間については四半期連結財務諸表を作成しておりません。これにより当第1四半期連結累計期間の業績に対する前年同期比等の比較分析については、前第1四半期連結累計期間に代えて、前第1四半期累計期間と比較して記載しております。

当第1四半期連結累計期間における取り組みは、既存事業の売上高向上と収益改善に注力してまいりました。社内組織も見直しを行い、効率化と人材育成を目的とした体制構築に努めてまいりました。また、新規事業であります森林バイオマス発電事業は、建築会社及び機械メーカーとの契約を行うとともに工事着手により、事業化に向けた取り組みを計画通り推進しております。既存3事業の売上高は減少予想の計画数値でありましたが、当第1四半期連結累計期間は、建設系リサイクル事業が当初計画を上回って推移しております。各施設ともに効率的な稼働を継続するとともに受入平均単価も堅調に推移しております。

これらの結果、売上高は639百万円となりました。

売上原価は、計画比で人件費が25百万円で増加しておりますが、その他各費目が計画を下回った結果、459百万円となり、売上高総利益率は28.2%と計画比で3.4%上回っております。

販売費及び一般管理費は、森林発電事業の一戸フォレストパワー及び一戸森林資源の事業準備に伴う費用発生及び売上原価同様に計画比で人件費が増加したため、72百万円となりました。営業利益は107百万円、売上高営業利益率は16.9%となりました。営業外費用は子会社の支払利息が増加しておりますが、借入金の借り替え等により支払利息及び支払手数料が低減したため、経常利益は96百万円、四半期純利益は57百万円となり、組織体制の強化により各利益ともに計画数値を上回っております。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

①建設系リサイクル事業

(単位：百万円)

	当第1四半期	前第1四半期	前年同四半期比	計画	計画比
売上高	539	465	74	490	49
売上原価	361	333	28	351	10
売上総利益	178	132	46	139	39

建設系リサイクル事業は、効率的な施設稼働を目的として計画的な受入数量の維持に努めてまいりました。各取引先との連絡対応に注力し、外注委託数量を確保するとともに安定的な受入数量の継続に努めてまいりました。焼却・破砕施設の売上高は新規取引先の増加等により、受入数量が増加するとともに受入平均単価も向上しており、前年同期比28.1%増加しております。発電施設は受入平均単価が向上しておりますが、受入数量は消費増税の反動により、解体木くずの受入が減少したため、前年同期比で13.8%減少しております。売電売上は、売電数量が増加するとともに売電単価も向上し、前年同期比7.1%増加しております。その他施設の売上高も受入数量の安定化等により、堅調に推移しております。

売上原価は、人件費、外注委託費用等が計画を上回っておりますが、維持管理費及び機械リース費等が計画を下回っております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は539百万円(前年同期比15.9%増)、売上原価は361百万円(前年同期比8.4%増)となり、売上総利益は178百万円(前年同期比34.9%増)となりました。

②食品系リサイクル事業

(単位:百万円)

	当第1四半期	前第1四半期	前年同四半期比	計画	計画比
売上高	61	64	△3	63	△2
売上原価	58	57	1	55	3
売上総利益	2	7	△4	8	△5

食品系リサイクル事業は、前期に引き続き液状化飼料の販売拡大に努めてまいりました。前期の平成25年12月をピークに、平成26年1月以降は様々な要因により販売数量が減少しておりましたが、新規販売先の開拓により、平成26年7月を境に増加に転じております。平成26年9月は過去最高の販売数量となり、販売平均単価も向上しております。再資源化センターでの受入数量は平成26年7月以降、飼料として栄養価の低い野菜等の受入制限を実施しておりますが、前年同期比0.1%増となりました。

売上原価は人件費が計画を上回っております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は61百万円(前年同期比4.9%減)、売上原価が1.9%増の58百万円と増加したため、売上総利益は2百万円(前年同期比60.6%減)となりました。

③白蟻解体工事

(単位:百万円)

	当第1四半期	前第1四半期	前年同四半期比	計画	計画比
売上高	37	51	△13	36	1
売上原価	38	50	△11	37	1
売上総利益又は 売上総損失(△)	△0	1	△2	△1	0

白蟻解体工事は、前期に消費増税により解体工事件数が増加した反動で、工事件数が減少しております。解体工事は前年同期比42.7%減少しております。白蟻工事も同様に前年同期比20.4%減少しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、概ね計画通りの37百万円(前年同期比26.7%減)、売上総損失は0.8百万円(前年同期比2百万円減)となりました。

④森林発電事業

森林発電事業は、平成28年の営業開始に向けて連結子会社による建築会社及び機械メーカーとの工事契約を行うとともに建設工事に着手し、シンジケートローン契約による設備資金として635百万円の借入れを実行しました。

なお、当第1四半期連結累計期間において、事業並びに営業実績は発生しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間末の総資産の状況は、前連結会計年度末に比べ888百万円増加し、4,399百万円となりました。主な増減要因は次のとおりです。

流動資産については、債権の回収により売掛金が4百万円減少したものの、現金及び預金が73百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ79百万円増加し、1,415百万円となりました。

固定資産については、木質バイオマス発電事業における建築会社及び機械メーカーとの契約金支払による建設仮勘定776百万円の計上等により、前連結会計年度末に比べて808百万円増加し、2,984百万円となりました。

流動負債については、債務の支払いにより買掛金が25百万円、短期借入金が返済により55百万円減少しておりますが、未払法人税等31百万円、賞与引当金50百万円をそれぞれ計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ5百万円増加し、792百万円となりました。

固定負債については、木質バイオマス発電事業の設備資金635百万円の借入を実行したこと等により、前連結会計年度末に比べ662百万円増加し、1,758百万円となりました。

純資産については、四半期純利益57百万円の計上、期末配当金34百万円の支払、連結子会社による優先株式発行により200百万円を調達したこと等により、前連結会計年度末に比べ220百万円増加し、1,848百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、第1四半期連結累計期間の売上高が堅調に推移しており、月次での売上高も計画比、前年同期比ともに上回って推移しております。各施設の稼働率も順調に推移しており、効率的な受け入れ体制の強化に努めてまいります。また、食品リサイクル事業の受入数量拡大を目指し、需要が拡大しております液状化飼料の販売増加に努めてまいります。

売上原価は費目ごとの増減とともに変動費用は増加しておりますが、概ね計画通り推移しておりますので、原価率の改善により、売上総利益、営業利益が堅調に推移しております。現時点におきまして前回公表数値に変更はありません。変動が見込まれる場合は、必要に応じて適時開示してまいります。

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間	前第1四半期 累計期間(注)	前年同期比	計画	計画比
売上高	639	582	57	590	48
売上原価	459	441	17	444	15
売上総利益	180	140	39	146	33
販売管理費	72	54	18	58	14
営業利益	107	86	21	87	19

(注) 当社グループは、前第3四半期決算より連結決算へ移行しておりますが、当第1四半期連結累計期間において連結子会社の事業並びに営業実績は発生しておりませんので当第1四半期連結累計期間の業績に対する前年同期比等の比較分析については、前第1四半期累計期間と比較して記載しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	926,506	999,580
売掛金	305,962	301,608
たな卸資産	27,154	39,029
その他	78,152	75,400
貸倒引当金	△2,195	△114
流動資産合計	1,335,579	1,415,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,816,948	1,821,155
減価償却累計額	△796,825	△811,145
建物及び構築物(純額)	1,020,122	1,010,010
機械装置及び運搬具	2,521,731	2,564,774
減価償却累計額	△1,761,512	△1,777,722
機械装置及び運搬具(純額)	760,219	787,051
土地	231,995	231,995
建設仮勘定	6,587	788,172
その他	45,366	46,603
減価償却累計額	△36,574	△37,639
その他(純額)	8,792	8,964
有形固定資産合計	2,027,717	2,826,194
無形固定資産	11,398	10,296
投資その他の資産		
投資その他の資産	137,816	149,310
貸倒引当金	△1,543	△1,543
投資その他の資産合計	136,273	147,767
固定資産合計	2,175,388	2,984,258
資産合計	3,510,968	4,399,762

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	170,915	144,965
短期借入金	179,920	124,214
1年内償還予定の社債	98,000	98,000
1年内返済予定の長期借入金	90,912	141,168
未払法人税等	50,588	31,779
賞与引当金	-	50,959
その他	196,560	201,322
流動負債合計	786,896	792,408
固定負債		
社債	553,000	504,000
長期借入金	401,020	1,110,771
その他	141,757	143,685
固定負債合計	1,095,777	1,758,456
負債合計	1,882,674	2,550,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	474,947	475,145
資本剰余金	595,427	595,625
利益剰余金	550,217	572,542
自己株式	△35	△35
株主資本合計	1,620,557	1,643,278
新株予約権	1,803	1,793
少数株主持分	5,932	203,825
純資産合計	1,628,293	1,848,897
負債純資産合計	3,510,968	4,399,762

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	639,528
売上原価	459,291
売上総利益	180,237
販売費及び一般管理費	72,329
営業利益	107,908
営業外収益	
受取利息	68
受取家賃	1,950
その他	343
営業外収益合計	2,361
営業外費用	
支払利息	6,426
支払手数料	5,912
その他	1,261
営業外費用合計	13,600
経常利益	96,669
特別利益	
固定資産売却益	1,778
特別利益合計	1,778
特別損失	
固定資産除却損	1,180
特別損失合計	1,180
税金等調整前四半期純利益	97,267
法人税、住民税及び事業税	30,244
法人税等調整額	12,678
法人税等合計	42,923
少数株主損益調整前四半期純利益	54,344
少数株主損失(△)	△3,174
四半期純利益	57,518

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)	
当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	
少数株主損益調整前四半期純利益	54,344
四半期包括利益	54,344
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	57,518
少数株主に係る四半期包括利益	△3,174

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。